



平成 22 年 8 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社三井ハイテック
代表者名 代表取締役社長 三井 康誠
(コード番号 6966 東証第 1 部・福証)
問合せ先 取締役管理本部長 辻本 圭一
(TEL 093-614-1111)

業績予想の修正及び特別損失並びに特別利益の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向及び特別損益の計上等を踏まえ、平成22年3月17日に公表した平成23年1月期第2四半期累計期間(平成22年2月1日～平成22年7月31日)の連結業績予想及び平成23年1月期通期(平成22年2月1日～平成23年1月31日)の連結業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想数値の修正について

(1). 平成 23 年 1 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想数値の修正 (平成 22 年 2 月 1 日～平成 22 年 7 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	24,000	△200	△100	△200	△4.71
今回発表予想 (B)	25,000	△600	△700	△3,000	△70.65
増減額 (B-A)	1,000	△400	△600	△2,800	△65.94
増減率 (%)	4.2	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 1 月期第 2 四半期)	15,307	△2,978	△2,532	△2,594	△61.11

(2). 平成 23 年 1 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 22 年 2 月 1 日～平成 23 年 1 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	51,500	200	300	200	4.71
今回発表予想 (B)	53,000	50	△100	△1,000	△23.55
増減額 (B-A)	1,500	△150	△400	△1,200	△28.26
増減率 (%)	2.9	△75.0	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 1 月期)	37,924	△4,285	△4,032	△4,966	△116.95

(3) 修正の理由

①平成23年1月期第2四半期累計期間の業績予想修正

売上高は、各国の景気刺激策等の効果で新興国市場を中心に市況が好転し、I Cリードフレームの受注増などにより期初予想を上回る見込みとなりました。一方、利益面では、生産効率向上の取り組みを継続しましたが、I Cリードフレーム事業では価格競争激化などによる収益性低下を補うことが出来ず、加えて為替レートが前期末に対して円高で推移したことにより為替差損の計上が見込まれます。また、固定資産の減損処理により、約22億円の特別損失が見込まれることなどにより、営業利益、経常利益、四半期純利益は期初予想を下回る見込みとなりました。

②平成23年1月期通期の業績予想修正

第3四半期以降も先行き不透明な受注環境が継続すると見込んでおりますが、第2四半期までの受注活動により、I Cリードフレームに加えて、プレス用金型の受注増が見込まれており、売上高は期初予想を上回ることが見込まれます。

利益面では、営業利益、経常利益において売上高増や生産効率向上効果及び事業の再構築による固定費減などが第3四半期以降に寄与することが見込まれますが、第2四半期累計期間の業績予想の修正に伴い期初予想を下回る見込みです。また、第3四半期に連結子会社の資産譲渡を実施し、約14億円の特別利益の計上を見込んでおりますが、第2四半期に計上する約22億円の特別損失により当期純利益においても期初予想を下回る見込みです。

以上により平成22年3月17日発表の予想数値を修正いたします。

なお、本業績予想の修正による配当予想の修正はありません。

2. 特別損失の計上について

I Cリードフレーム事業において、原材料価格の高騰、価格競争の激化及び急激な円高など事業環境が大きく変化したことにより収益回復に遅れが見られるため、将来キャッシュ・フローの見積もりに基づく回収可能性を検討し、第2四半期において「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社の黍田事業所及び連結子会社である三井高科技（広東）有限公司が保有する固定資産について約22億円の減損損失の計上を見込み、事業構造の健全化を図ることといたしました。

3. 特別利益の計上について

平成22年8月9日開催の取締役会において、当社連結子会社であるMitsui High-tec (Hong Kong) , Ltd. の保有する資産を譲渡することを決議いたしました。この譲渡により約14億円の特別利益の計上が見込まれています。

尚、Mitsui High-tec (Hong Kong) , Ltd. は事業再編の一環として2010年1月にI Cリードフレームの生産活動を中止しております。生産活動用に保有しておりました資産について、今後使用見込みがないことから譲渡することといたしました。詳細は本日開示いたしました「連結子会社の資産の譲渡に関するお知らせ」をご参照ください。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいているものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上